

## 「拝殿御扉」

朝陽が反射した拝殿の扉。神聖な工不  
ルギーを感じる瞬間でした。

金井宮司、就任おめでとうございます！  
二千年以上続く武藏御嶽神社の歴史に  
新しい光が放たれることと 思います。  
神社の益々の発展を願つております。

（写真・文 鶴巻育子）

御  
ノ  
御  
神  
社

武  
州  
み  
た  
け

第六十一号

# 就任の御挨拶 宮司 金井 格

御挨拶の前に、ロシアによるウクライナ侵攻の早期終息と、世界各地でおきている異常気象により大きな被災を受けられた皆様に御見舞いを申し上げると共に、亡くなられた方々に御冥福をお祈りいたします。

さて、この度令和五年三月八日の神職会におきまして、当社宮司に選任されました金井格と申します。何分にも浅学非才の身の上、先輩方が多くいる中選任されましたので辞退も考えましたが、任命されたからには全力で神明奉仕に取り組む所存です。どうぞ須崎前宮司と同様、御指導、御鞭撻のほどお願い申し上げます。

さて、六年後には西年式年大祭という大きな祭典を控え、それに進むべき所なのですが、現在緊急の課題といたしまして、参道の枯損木、ナラ枯れの伐採を行わせて頂きます。特にナラ枯れの問題は全国に広がっており、御岳山でもここ二～三年で大きな被害が見られるようになりました。伐採を行うにも機械も入らず急な斜面での作業となり多額な費用が掛かる為、神社といたしましても工面に頭を悩ましている所です。なんといたしましても参拝に来られる皆様が安心して参拝できますよう神社として精一杯努めさせて頂きます。

神社を取り巻く環境も、社家の後継者、講中の減少等日々厳しさを増していく中、奉賛会の設立等明るい兆しも見えて参りました。これからも皆様の御意見を承りながら、一歩ずつ進んで参りたいと考えております。

今後も神社護持、山上発展の為、微力ながら力を尽くして参りますので、皆様のなお一層の御支援、御厚情をお願い申し上げます。

これから季節、山は紅色に染ま

り、爽やかな風に包まれ、そして御正月を迎えます。多くの方々の御参拝をお待ち申し上げます。

最後に、皆様の御健勝と御多幸を御嶽大神に御祈念申し上げ、宮司就任の御挨拶とさせて頂きます。



## 御奉賛のお願い



**御奉賛 一口 二千円（かね）**

皆様方のお蔭によりまして、昨年度は、赤糸威鎧・紫裾濃甲冑の修理に宝物殿のケースや湿気対策工事、避雷器の設置など、懸案の事業を行うことが出来ました事、厚く御礼申し上げます。

今後とも気持ちよく安心してご参拝いただけるよう、引き続き産安社本殿修理、枯損木の伐採などを進めて参りたいと存じます。

特に今年になり、ナラ枯れが広範囲に進み、一刻も早く対策しなければなりません。菌に感染した樹木は枝折れや倒木の恐れがあるため、道沿いの危険性の高い樹木より伐採していくますが、境内地全域に及ぶため継続した伐採と保全のための植樹が必要となります。参道の御神木についても、枯損木等、落枝倒木の危険を回避するための対策も行つていかなければなりません。

皆様の深いご理解とご信仰を賜り、心からの御奉賛を仰ぎたくお願い申し上げます。

皆様の御奉賛を仰ぎたくお願い申し上げます。

## 武藏御嶽神社祭礼日

一月 一日 元旦祭	三月 八日 春季大祭（新年祭）
二月 初午 稲荷社祭	三月 三日 節分祭
四月 下旬 産安社祭	五月 七日 日の出祭（宵宮）
五月 二十九日 奉納剣道大会・介山祭	六月 八日 日の出祭（神輿渡御）
五月 三十日 夏越大祓	七月 五日 男具那社祭
九月 二十九日 大口真神社祭	九月 二十九日 大口真神社祭
十月 第一日曜日 敬神奉賛会大祭	十月 第三日曜日 奉納剣道大会
十月 第二日曜日 流鏑馬祭	十一月 八日 秋季大祭（新嘗祭）
十一月 八日 秋季大祭（新嘗祭）	十二月 二十三日 末社祭
十二月 二十三日 末社祭	三月 三十一日 大祓
三月 三十一日 大祓	毎月 八日 月次祭
毎月 八日 月次祭	六月（十一月 第四日曜日 夜神樂）
六月（十一月 第四日曜日 夜神樂）	六月・七月・九月 修行体験講座
六月・七月・九月 修行体験講座	六月・十月 神楽と雅楽の一般公開

# 武藏御嶽神社 敬神奉賛会 会長就任の御挨拶

野崎 啓太郎



この度、令和五年七月一日付で武藏御嶽神社敬神奉賛会会長に就任いたしました野崎啓太郎と申します。敬神奉賛会は前任の村野弘一様が組織を整備され、昨年十月に設立報告祭と設立総会を行いました。今後も敬神奉賛会を会員の皆様と共に、御嶽大神の神恩に感謝し、大神を支える組織として整備して参りたいと存じます。

私は現在、東京都農業協同組合中央会会長を務めています。東京都内における野菜・果物の生産地では、古くより御嶽講が組織されています。多摩川の上流に鎮座する御嶽大神が恵みの水を与えられ、田畑を潤し、集落を豊かに導く、との信仰のもと現在も多くの方々が御岳山を参拝されています。

大神を信仰することは、農業のあるいは人間生活の始まりであります。長い歴史の中で私達は多くの御加護を頂きながら、豊かな生活を築いて参りました。農家に生まれ、御嶽講の講員一人でもある私は、まずこの神恩に報いるように神社の発展に寄与して参りたいと考えております。

崇敬の方を対象に敬神奉賛員の募集を広く始めたのは、平成二十九年十二月の事でした。武藏御嶽神社はおもに東京都、埼玉県、神奈川県を中心とした関東地方の方々から崇敬を集めてきました。この方々に神社から情報を届けし、参拝の便宜をはかりうとしたのが敬神奉賛員制度の始まりでした。

現在は日本列島の各地の方々より、会員の申込を頂いております。身は遠方にありながら、大神のご加護にあずかりたいとして申し込まれた方があると伺いました。距離の遠近に関わらず崇敬の念の強さこそが、大神の御恵みを導きます。また、夜に御岳山に灯る明かりをたよりに、静かに手を合わせる方があるとも伺いました。「祈る」という行為は自身の心に安らぎを与えてくれます。私も奉賛員の皆様と同じく、敬神の念を大切に務めて参ります。

御嶽大神が鎮まるこの御岳山は、悠久の歴史を誇ります。この武藏御嶽神社が次代へと継承されるように、御嶽講、敬神奉賛会、崇敬者の皆様と共に尽力して参りたいと存じます。どうかお力添えを頂きたくお願い申し上げます。

この度、令和五年七月一日付で武藏御嶽神社敬神奉賛会会長に就任いたしました野崎啓太郎と申します。敬神奉賛会は前任の村野弘一様が組織を整備され、昨年十月に設立報告祭と設立総会を行いました。今後も敬神奉賛会を会員の皆様と共に、御嶽大神の神恩に感謝し、大神を支える組織として整備して参りたいと存じます。

私は現在、東京都農業協同組合中央会会長を務めています。東京都内における野菜・果物の生産地では、古くより御嶽講が組織されています。多摩川の上流に鎮座する御嶽大神が恵みの水を与えられ、田畑を潤し、集落を豊かに導く、との信仰のもと現在も多くの方々が御岳山を参拝されています。

大神を信仰することは、農業のあるいは人間生活の始まりであります。長い歴史の中で私達は多くの御加護を頂きながら、豊かな生活を築いて参りました。農家に生まれ、御嶽講の講員一人でもある私は、まずこの神恩に報いるように神社の発展に寄与して参りたいと考えております。

崇敬の方を対象に敬神奉賛員の募集を広く始めたのは、平成二十九年十二月の事でした。武藏御嶽神社はおもに東京都、埼玉県、神奈川県を中心とした関東地方の方々から崇敬を集めました。この方々に神社から情報を届けし、参拝の便宜をはかりうとしたのが敬神奉賛員制度の始まりでした。

現在は日本列島の各地の方々より、会員の申込を頂いております。身は遠方にありながら、大神のご加護にあずかりたいとして申し込まれた方があると伺いました。距離の遠近に関わらず崇敬の念の強さこそが、大神の御恵みを導きます。また、夜に御岳山に灯る明かりをたよりに、静かに手を合わせる方があるとも伺いました。「祈る」という行為は自身の心に安らぎを与えてくれます。私も奉賛員の皆様と同じく、敬神の念を大切に務めて参ります。

御嶽大神が鎮まるこの御岳山は、悠久の歴史を誇ります。この武藏御嶽神社が次代へと継承されるように、御嶽講、敬神奉賛会、崇敬者の皆様と共に尽力して参りたいと存じます。どうかお力添えを頂きたくお願い申し上げます。



令和4年10月2日 敬神奉賛会設立奉告祭と懇親会の様子

## 敬神奉賛員募集中のご案内

当社では、敬神奉賛員を募集しております。敬神奉賛員には例祭・祭典・行事のご案内のほか、新年に向けての御神札頒布など各種の特典が受けられます。趣旨にご賛同いただき、ご入会くださいますようご案内申し上げます。

来年度より、会員の種別が変更となります。現会員の皆様におかれましてはご確認を頂き、来年度更新の際はお手続きをお願い申し上げます。

特別会員（会社で入会希望の場合） 一〇,〇〇〇円  
個人会員 五,〇〇〇円  
家族会員（個人会員の同一世帯のご家族一名様毎） 三,〇〇〇円

※詳しくは社務所までご連絡ください。

一〇,〇〇〇円  
五,〇〇〇円  
三,〇〇〇円

## 「ニホンオオカミ」お貸しします

権禰宜 馬場慶太郎

皆様ご周知の通り、当社には御眷属として『大口真神（おおぐちまがみ・おいぬさま）』がお祀りされています。ニホンオオカミをモデルとし、当社奥の院にお祀りされる『日本武尊』に付従う神様として祀られ、農村を荒らす害獣除けや盜難除けなど、あらゆる厄を除けて下さる神様として、江戸時代からは主に関東地方の農家を中心信仰を集めました。

当社では、その大口真神様を模したお札を数種類頒布致しておりますが、中でも紙製の切り札にならんで古くからお分かちされ、形体も特殊なお札に『大口真神引替札』があります。

玄関・門柱などに祀られた狼を見た事があると思います。大口真神様のお札として最も広く頒布されているのはその「切り札」ですが、引替札は木製の箱の中に内芯（ご神体）を入れ、羽織に包んで麻紐で縛った「箱札」です。羽織にはお札を受けた日付とお名前が書かれることが一般的です。古くから「講」の方を中心にお分かちされており、多くはお稲荷様などと同様に屋敷の庭に専用のお社を設けて安置され、所謂分社のように、まさに神様を“お貸り”するように祀られます。

引替札は一体一体、神職（御師）による手作りで、お札を入れる箱は繰り返し使用するため焚き上げせず、一年おきに神社もしくは担当の宿坊にお返ししなければなりません。

近年ではおいぬさま信仰の拡がりから、全国各地から一般の授与も増えており、神棚等にお祀りされる方もいらっしゃいます。

ご自宅や各営業所などのあらゆる難を除けて下さる有難い神様です。おいぬさまのご守護が必要な方、『一家に一体、お貸し』します。



御初穂料一金貳〇〇圓也



各種祈福  
全六種付属  
犬シール  
良縁成就  
健康長寿  
厄難消除  
交通安全  
開運招福

座鎮上頂山岳御州武  
社神嶽御藏武

地番六七一 山岳御市梅青  
(ル上道鉄山登岳御)  
番〇〇五ハーハ七 話電

令和五年御颁布初め申候

免々  
みくじ

此の世に在る櫛の歯の数だけ  
物事ヲ占ひ智恵ヲ授クと伝ふ  
櫛麻智命様の御力をいたゞき  
愛犬と飼ひ主の運勢ヲ占ひ

新解釈「犬の気持ち名言」付

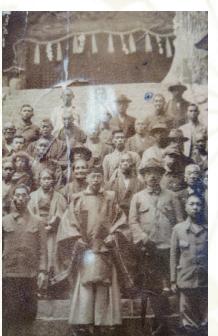
## 『帰ってきた何足の草鞋?!』

権禰宣 久保田 享

YouTube 御岳山 Life  
「法縫ぎ」こちらから↑

## 御岳山売店紀行

亀屋

初代 須崎貞雄さんによる  
講中戦勝祈願の集合写真

私がこの山に帰つてき早二十年が立ちました。神主として神社に奉仕する傍ら、家に帰りお客様をもてなし、観光について会議に参加し、消防団員として人命救助を行なうなど「何足の草鞋」を履いています。今回はそんな私の家業である、御師の入口「法縫ぎ」についてお話ししたいと思います。

私は久保田家の第十七代目として生を受けました。小さい頃から、家族にこの家を継ぎなさいと特に云われた事は無いのですが、山の住民や関係する人々に無言のプレッシャーを頂き現在に至ります。御岳山で御師の資格を取るには法縫ぎという修行をしなくてはなりません。今年は私の息子が第十八代目として法縫ぎを受けました。その内容は一週間、神社に寝泊まりし、朝夕は滝行、昼は祭典作法や着物の着付け、祝詞の読み書き、清掃等を行ないます。食事は質素でおかゆと味噌汁、漬け物があるぐらいです。

第一日目には食事用の火熾しを「舞錐式火熾し」という道具を使用するのですが、これは中々火が着きません。火をおこさなければ食事にはありつけませんので、十代の若者たちは必死です。こうして火の有り難みや、先人達が築いた文明に感謝するのです。

滝行は毎日、朝六時、夕十六時三十分の2回行います。そこには先輩達が指導に駆けつけてくれます。ここでは自分たちが多くの人々に支えられて居る事を感じる場となります。

あれよ、あれよといふ間に時間だけが過ぎていき、最終日を迎えます。最終日には実際に装束に着装し、御神殿にて祭典を執り行います。指導者や保護者に見つめられ、とても緊張して奉仕を終えます。

自分が十七才で経験した事を自分の息子が経験する。こうして過去から未来に紡がれてきたのだと、そしてこの山にはその伝統を先人達が築き、今に続いていることに感謝致します。

神代ケヤキの坂道を登りきると売店が立ち並びノスタルジックな雰囲気を醸し出す。江戸の時代より参拝者をもてなす商店街である。その一番手前にあり甘味処として常連や女性客で賑わうのが売店「亀屋」である。

現在は女将の里子さんと長男長女の三人で店を営んでおり、その歴史は三代前の須崎栄さんが大正時代にこの場所に店を開いた時に始まる。須崎家は武藏御嶽神社の社家でもあった。多くの講中氏子を抱え、先代克雄さんの時まで代々御師として神社に奉職をしていました。天狗岩の鳥天狗像や禮場綾糸の滝の鳥居など多くの寄進に携わり、御名を神社に残している。

店の中に入ると大正時代の趣が随所に現れ、特に欄間や店名の額などに開業当時の店主のこだわりを感じ事ができる。対応する里子さん的人柄も相俟つてなんとも居心地が良く、つい長居してしまう。

亀屋の人気はやはり三十年以上続く自家製「わらび餅」と「麹の甘酒」で、参拝客だけでなく山上住民にもファンが多く、筆者もその美味に魅了された一人である。

御嶽詣や登山の際は、売店亀屋の絶品甘味を堪能するのはいかがだろうか。



自分が十七才で経験した事を自分の息子が経験する。こうして過去から未来に紡がれてきたのだと、そしてこの山にはその伝統を先人達が築き、今に続いていることに感謝致します。



数々の登山者を虜にした亀屋の自家製わらび餅



御岳ビューサンタ

## ムサくんだより

「あなたの秋の楽しみは？」

山の春や夏は都市部よりも遅く来るのに、秋は早く来ます。いつの間に季節が逆転したのだろうと思しながら、今年もあつという間に夏のレンゲショウマが咲き終わり、御岳山に秋が訪れます。

御岳山にはそれぞれの季節の色々な楽しみがあります。秋の私の楽しみは、まずはやはり紅葉です。朝ケーブルカーを降りてビューサンタまで歩く時、正面に見える奥の院がだんだんと色づいてくると、季節が進んでいることを実感します。綺麗な三角形をした奥の院は、夏は鮮やかな緑ですが、紅葉の時期は山肌が秋の色でモザ



入る、天気の良い日の午前中です。  
秋の花も、春や夏の花よりも少ないからか、見つけると嬉しくなりま

す。特に参道脇などに咲くリンドウは、シックな紫色が秋に似合う花だなーと見ると、秋は仕事

が終わって帰る頃、動物たちの活動時間にならため、帰り道で動物に会うこと

が増えるのも樂しみです。ムササビが目

が歩いていたり、シカの声が聞こえた

り、夕暮れの森の雰囲気に



リンドウ



ムササビ

を見つけに来てください。

ほ  
う  
法  
継  
ぎ

そんな中、本年御師（神職）を目指す四名が法継ぎを行いました。近い将来神社、御岳山を担う若者です。

我々現神職は、彼らが受け継ぎ守り続ける神社と御師の為、これから何をするべきなのか日々思慮を巡らせております。



写真右から

高名絵さん（大4）、久保田桃乃介さん（高2）  
天野充朗さん（高1）、片柳信之丞さん（中2）

燈籠奉納

奉納

令和四年八月一日  
令和五年八月三十一日

高瀬御嶽講  
五十嵐金夫

弘中朋良

お知らせ



武 州 み た け

多くの方にご奉納いただき  
誠に有難うございます。  
準備が整い次第、銅鳥居上  
より神社に向かって六基建立  
させて頂く予定です。

多くの方はご奉納いたたき  
誠に有難うございます。

有限公司アクト・サポート・ス  
株式会社丸井紙店

タツフ 今村 穣

村野英夫  
大口 真  
田中満男  
成田八重子  
小川洸太郎  
梶山美雄

大変遅くなりご心配をお掛けしておりますクラウドファンディングへご支援

佐々木洋一 捷子・処生・森愛  
西岡甲房 西岡文夫  
世田谷 玉川寿講中  
秋山辰則

上板橋桜川敬神講  
株式会社ウチダハウスマガジン  
高瀬講中  
有限会社スペースシップ 梅原英明  
小野源一  
馬場一行  
宮井美美子  
宮井利香子  
練馬中村講中  
梶 恵司  
香取キヨ子

より神社に向かつて六基建立  
させて頂く予定です。

【基 奉納者（順不同・敬称略）】

株式会社 喜丸

株式会社 ティエラ・リサ・ゼンール 本道真智子

株式会社 さきみづ口ダクション 小倉美恵子

神木講中

株式会社 野島商事 永井敏雄

井上光子・中村佐内・他一同

山田國光  
喜田 豊  
佐藤玄宗  
市川 実  
市川良子  
東海林 守  
清水元美  
青木克夫  
中鳥理明

上板橋桜川敬神講	宮井美美子
株式会社ウチダハウス	宮井利香子
高瀬講中	練馬中村講
有限会社スペースシップ	坂本武志
小野源一	香取千ヨ子
桜接骨院	大塙忠正
秦野講	栗原幸一
神田神社	梅原英明
有限公司 小町建築設計事務所	清水祥彦
有限公司サンベア	小町幸生
大泉辛酉講	進藤喜一
横浜池辺西部講中	加藤友久
有限会社スペースシップ	井戸理恵子
福泉自動車株式会社	渡邊萍子
岡野恵造	佐藤 登
栗原祥一郎	喜田 豊
宮内寛光	濱中満江
根岸講	高野六雄
宮川祐一	城田安里躍
浅野晃裕	辻谷 政
野嶋和之	大河真一郎
鶴田浩典	石橋正裕
小村元昭	月影塾
小村高平	松井暢子
黒川富貴雄	荒木ちはる
野田敏夫	
小村高平	



注連縄奉納

拝殿正面を飾る大注連縄等  
をご奉納いたしました。

「御  
ノ  
講

市 京所講中

太々神樂奏上

王二口ナウイルスは第五類感染症に移  
はコロナ禍前に戻り、太々神楽奏上も  
あります。神人和楽の太々神楽、継  
りお申込をお待ち申し上げます。

宝物殿前、畠山重忠像の左手に掲出いたしました

三箇瀧仁	須崎裕	巳作和恵	市川実
三箇愛沙	鈴木邦夫	福泉自動車株式会社	
有限会社スペースシップ	高名都雄	岡野恵造	
梅原英明	片柳光雄	栗原祥一郎	松本和治
濱中満江	宮内寛光	大場善延	根岸溝
高野六雄	鳩田亞也子	杉山富美夫	成妻憲
城田安里躍	辻谷孜	渡邊真理	白鳥正治

ツブ	梅原英明	滝中満江	高野六雄	城田安里躍	辻谷 政	渡邉真理	石橋正裕	大河真一郎	月影塾	松井暢子	荒木ちはる
云社	杉山富美夫	大場善延	嶋田亜也子	我妻 遼	黒川富貴雄	野田敏夫	小村高平	川村元昭			

## 神楽と雅楽の一般公開（神楽殿・十一時開演）

六月・十月 第三日曜日

夜神樂（神樂殿・夜八時開演）  
六月（十一月 第四日曜日

